

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月17日(火)

事務事業		送配水施設管理事業				担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	42111
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり				根拠法令 個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン 深谷市水道事業基本計画			
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化								
	主要プロジェクト										
事業概要		安全・安心な水道水の安定供給や災害時等のライフラインの確保のため、老朽化した水道管の更新や重要な管路の耐震化を計画的に進める。									
目的 ※何のために		安全・安心な水道水の安定供給や災害時のライフライン確保。									
対象 ※誰・何を対象に		水道施設									
手段 ※どのように		老朽管更新計画に基づき、更新・耐震化の整備を実施する。									
成果 ※何を求めるか		安全・安心な水道水をいつまでも安定供給できるようにするとともに、災害時においても必要な水道水の供給を維持できるようにする。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)		
本事業の 主な業務		・老朽管更新業務					・				
		・配水管網整備業務					・				
		・漏水調査・修繕業務					・				
		・送配水管維持管理業務					・				
		・					・				
		・					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	0	0	0	0			
	決算額	0	0	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数（人）	5.65	5.65	5.65	5.50			
	人件費相当試算※	44,462,998	45,257,433	46,455,662	46,903,010			
総事業費試算		44,462,998	45,257,433	46,455,662	46,903,010			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	耐震性の低い管の総延長		目標値	km						
			実績値		394.27	391.68	388.34			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		老朽管（VP・CIP）実績延長							
	実績値の算出式									
成果指標 1	水道管の更新延長		目標値	km	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			実績値		8.64	6.49	7.69			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		老朽管更新延長「老朽管（VP・CIP・その他）＋重要給水」の更新延長							
	実績値の算出式									
成果指標 2	重要給水施設配水管工事進捗率		目標値	%	20.00	30.00	40.00	50.00	60.00	70.00
			実績値		18.40	26.70	31.10			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		・耐震管への更新延長／非耐震管延長（40.8km）							
	実績値の算出式			7.5/40.8	10.9/40.8	12.7/40.8				
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	老朽管更新計画に基づき、重要給水施設配水管の更新や铸铁管・硬質塩化ビニル管の耐震性の低い老朽管更新を計画どおり進捗させた。 なお施工においては、経済性・施工性を考慮した配水管を採用している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	水道管の更新延長や重要給水施設配水管工事進捗率は、計画どおり進捗させることができた。また、ダクタイル铸铁管と比較し、配水管ポリエチレン管を使用したことで工事費の削減につながっている。
			評価者 給配水係 松村正康

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	配水管ポリエチレン管を使用したことで、施工中の現場での安全管理も図られ、工事費の削減ができている。
			評価者 給配水係 松村正康